

# 津久戸

平成29年10月27日

11月号

新宿区立津久戸小学校

## ふれあい月間について

「ふれあい月間」は、学校が、いじめや不登校、その他の問題行動の状況について総点検を行い、問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行うことを目的としています。また、こうした取り組みを充実させていくためには、教員等の指導の在り方も重要であり、状況を把握する機会とされています。主な取り組みとしては、全体への講話や児童へのアンケートによる調査を中心に、6月、11月、2月の年3回行われています。回答には複数の教員が分析にあたり、把握した課題については児童からの聞き取り、保護者への連絡等適宜必要な指導助言を行い、早期発見、早期対応を目指します。

さらに昨年度より6月、11月には4年生以上の児童を対象に(hyper-QU)が導入されました。これは「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」で、いじめの発生・深刻化の予防や対応、不登校への早期対応等に活用していきます。

「ふれあい月間」としての取り組みは年3回ですが、取り組み期間以外でもいじめ、不登校、暴力、問題行動等には組織で対応する体制で取り組んでいます。ご家庭からの相談にも対応しています。お子さんを中心に、学校と保護者が共通の視点で協力して取り組んでいくことは健全育成にとって大切なことです。今後もご理解ご協力お願い致します。

## 赤い実つけた

校長 八田 瑞穂

稲の穂が熟し黄色に変化していくことを「黄熟」と書き、「あかり」とも読みます。これが「秋」の語源とも言われています。

黄色ではありませんが、今年の秋に、初めて「イイギリ」が赤い実をつけました。いつのころからか、津久戸の校樹は「イイギリ」でした。登り棒のそばの木です。私が教諭として在籍していた20年前、校長の小笠原功先生が、主事さんと一緒になって、枯れそうになった「イイギリ」の接ぎ木をなさっていたのを、覚えています。

以前は実をつけていただろう「イイギリ」。

雌雄があるらしく、実をつけていたということは雌のはず。銀杏のように雌雄異株なのです。そこで110周年を記念して保健室の前に雌雄2本の「イイギリ」を植えました。

それから3年目の今年、赤い実をつけたのです。やはり雌の木だったのです。新しく2本植えた「イイギリ」もいつのまに大きくなり青年の木になりました。雄の木の花粉が飛んでいったことになるのでしょうか？

ブドウのような直径1センチほどの赤い実が幾房も垂れ下がっています。一年生の子が「これがブドウだったらなあ。」と言っています。

本校のPTAの広報誌は、「いいぎり」です「総合的な学習の時間」の名称は「イイギリ」からとっています。20年ほど前から丁度新しく「総合的な学習の時間」が始まったのです。当時の教職員でその名称を決めたのです。

やがて保健室の前のイイギリの木も赤い実をつけてくれることでしょう。実りの秋にふさわしい、うれしい出来事でした。

秋休み なんでもないんだ みんな言う

天の川 星々たちの 集会所

どんぐりが 葉っぱの蒲団に もぐってる

『つくど文集』より

## 学芸会

芸術の秋です。小学校・幼稚園合同で「学芸会」を行います。学芸会のねらいは、友達と協力して作品を創り上げようとする態度を育てること、作品の良さや作者の意図を読み取り、相手に伝わるように表現すること、そして、友達の表現を温かい気持ちで鑑賞し、互いの良さを認め合う心を育てることです。学芸会は、多様な表現方法を学ぶことができる機会です。また、大道具、照明など裏方での活躍にも目を向けていただけたらと思います。ぜひ、ご来校の上、子どもたちの頑張っている姿をご覧ください。

### ○日時

11月17日(金) 8:50~12:20(児童鑑賞日)

11月18日(土) 8:50~12:20(保護者鑑賞日)

### ○演目

1年生 たねまきこびとをたすけだせ

2年生 スイミー

3年生 のはらうた 冬春夏秋

4年生 ぞう列車よ走れ!

5年生 モモと時間泥棒

6年生 夢から醒めた夢



## 【学年の窓から・・・3年生】

3年1組は、毎日笑い声に包まれていて優しい雰囲気があるところが自慢です。体育で大縄跳びに取り組んだ時のこと、失敗してしまった友達を攻めることなく、「もう少しだよ、がんばれ!」と声をかける姿や、跳べるようになった友達に「すごい!できたね!」と声をかける姿を目にしました。ずっと出てくる声掛けが優しいものなので、みんながとても温かい気持ちでいられます。

先日、小金井公園に遠足に行ってきました。午前中は小雨が降っていたため、たても園の見学をしました。正午には雨も止み、広場でお弁当やお菓子を食べてから、鬼ごっこやボール遊びなどをして楽しく過ごすことができました。

いよいよ学芸会も近づいてきました。3年生は、くどうなおこさんの詩集「のはらうた」を表現します。自分たちでの手作りの学芸会を目指し、詩の読み方(一人読み・二人読み・群読など)を自分たちで考えるだけでなく、季節をイメージした音楽作りにも挑戦しています。どんな学芸会になるのか、これからの練習がとても楽しみです。

2組の子どもたちは子どもらしい明るさとバイタリティーにあふれ、毎日運動や学習に取り組んでいます。2学期が始まってからは、体育ではプレルボール(バウンドしたボールを仲間とパスしたうえで相手チームに返すボールゲーム)に取り組み、ゲームの仕方やルールをみんなで考えながら楽しむことができました。また、社会科ではスーパーマーケット見学に行き、身近なスーパーの裏側を見せていただく体験をしました。さらに、総合「地域安全マップ作り」では、自分たちの住んでいる町の危険な所・安全な所を調べました。実際に町をまわったフィールドワークでは、地域の方にインタビューをしたり保護者の方にお手伝いをしていただいたりしました。

こうした学習・体験を通して、子どもたちに学力や体力をつけるとともに、仲間と力を合わせて高まっていく喜びや自分たちを見守ってくださる方々への感謝の思い等も育みたいと考えています。

4年生への進級を一つのゴールと考え、これからも日々子どもたちが伸びるお手伝いをしていきたいと思えます。

### 11月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・校帽や名札をきちんとつけよう。
- ・外で元気に遊ぼう。
- ・力を合わせて行事を成功させよう。
- ・決められたことを守ろう。



きまりを守り、お互いに協力し合って、学校生活を気持ちよく送れるように指導していきます。(生活指導部)